

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-117416(P2009-117416A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-285378(P2007-285378)

【国際特許分類】

H 01 L 29/786 (2006.01)

H 01 L 27/146 (2006.01)

【F I】

H 01 L 29/78 6 1 3 Z

H 01 L 27/14 C

H 01 L 29/78 6 1 9 A

H 01 L 29/78 6 2 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月15日(2010.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板に形成された複数の電気素子と、前記複数の電気素子を覆う第1の保護絶縁膜と、
を備える電気素子デバイスにおいて、

前記電気素子に重なる領域を覆うように、且つ、隣接する2つの電気素子間の少なくとも一部の領域の前記第1の保護絶縁膜を露出させるように、前記第1の保護絶縁膜の表面上に第2の保護絶縁膜が設けられていることを特徴とする電気素子デバイス。

【請求項2】

前記第2の保護絶縁膜は透明であることを特徴とする請求項1に記載の電気素子デバイス。

【請求項3】

前記第2の保護絶縁膜の表面に静電保護電極が形成されていることを特徴とする請求項1または2に記載の電気素子デバイス。

【請求項4】

前記電気素子は受光素子であることを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の電気素子デバイス。

【請求項5】

基板に複数の電気素子を形成し、

前記複数の電気素子を覆う第1の保護絶縁膜を成膜し、

前記第1の保護絶縁膜の表面上に第2の保護絶縁膜を貼着し、

前記電気素子に重なる領域の前記第2の保護絶縁膜が残存するように、且つ、隣接する2つの電気素子間の少なくとも一部の領域の前記第1の保護絶縁膜が露出するように、前記第2の保護絶縁膜をパターニングすることを特徴とする電気素子デバイスの製造方法。

【請求項6】

前記第2の保護絶縁膜の表面上に静電保護電極を形成することを特徴とする請求項5に記載の電気素子デバイスの製造方法。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0010**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0010】**

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、基板に形成された複数の電気素子と、前記複数の電気素子を覆う第1の保護絶縁膜と、を備える電気素子デバイスにおいて、前記電気素子に重なる領域を覆うように、且つ、隣接する2つの電気素子間の少なくとも一部の領域の前記第1の保護絶縁膜を露出させるように、前記第1の保護絶縁膜の表面に第2の保護絶縁膜が設けられていることを特徴とする。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0012**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0012】**

請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の電気素子デバイスにおいて、前記第2の保護絶縁膜の表面に静電保護電極が形成されていることを特徴とする。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0013**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0013】**

請求項4に記載の発明は、請求項1から3の何れかに記載の電気素子デバイスにおいて、前記電気素子は受光素子であることを特徴とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0014**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0014】**

請求項5に記載の発明は、電気素子デバイスの製造方法であって、基板に複数の電気素子を形成し、前記複数の電気素子を覆う第1の保護絶縁膜を成膜し、前記第1の保護絶縁膜の表面に第2の保護絶縁膜を貼着し、前記電気素子に重なる領域の前記第2の保護絶縁膜が残存するように、且つ、隣接する2つの電気素子間の少なくとも一部の領域の前記第1の保護絶縁膜が露出するように、前記第2の保護絶縁膜をパターニングすることを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0015**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0015】**

請求項6に記載の発明は、請求項5に記載の電気素子デバイスの製造方法であって、前記第2の保護絶縁膜の表面に静電保護電極を形成することを特徴とする。

【手続補正7】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】